

基本施策	1 市民活動の裾野の拡大
施策	1 市民活動のきっかけづくり【重点施策】
施策の目標	市民の市民活動に対する関心を高める 市民の市民活動への参加につなげる多様な機会と場の提供
計画後期の展開	① 教育機関等と連携した市民のボランティア意識の醸成 ② 市民活動に対する理解促進のための講座等の企画・実施 ③ 対象者別の活動のきっかけづくりとなる場の提供 ④ 参加につなげる地域の魅力発信

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
男女平等推進センター企画運営委員会企画事業	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
地域猫対策協働事業	○	○	○	○
武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
高齢者食事学事業	○	○	○	○
子育て支援講習会	○	○	-	-
子育てひろばボランティア養成講座	○	○	○	○
中高生リーダー講習会	○	○	○	○
【プレイス】市活人展	○	○	○	○
【プレイス】講演会	○	○	○	○
【プレイス】ニュースレター発行	○	○	○	○
【プレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
【プレイス】市民活動の森	-	-	○	-
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	-
【プレイス】コミュニティマーケット	-	-	-	○
【市民社協】ボランティア育成事業	○	○	○	○
【市民社協】こころのバリアフリー啓発事業	○	○	○	○
【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
【市民社協】お父さんお帰りなさいパーティ	○	○	○	○
【市民社協】お父さんお帰りなさいサロン	○	○	○	○
【市民社協】夏！体験ボランティア	○	○	○	○
【市民社協】入門講座	○	○	○	○
【市民社協】協働講座	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	173	203	238	134
男女平等推進センター事業来場者数(延べ)	342	257	284	406
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	319	396	460	473
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
高齢者食事学事業参加者数(延べ)	798	844	741	617
子育て支援講習会講座参加者数	32	19	-	-
子育てひろばボランティア養成講座参加者数	54	62	54	49
中高生リーダー講習会登録者数	387	400	360	347
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4
【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	929	1,108	1,233	1,305
【プレイス】ワーキングポスター掲示件数	342	376	343	353
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	573	387	404	389
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	92	92	96	86

実施事業概要一覧（1-1）

事業名	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による講演などを行う。
事業名	男女平等推進センター企画運営委員会企画事業
目的	男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。
事業内容等	事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営、女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業
目的	「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。
事業内容等	各避難所運営組織(13団体)が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員の派遣、事例の紹介、物品の提供・貸与、資料の作成などを実施。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	地域猫対策協働事業
目的	生活公害となる糞尿被害や鳴き声に対する改善をはかり、人と猫が快適に共生するまちづくりへの寄与。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示やワークショップを行うほか、環境戦隊「ステレンジャー」ヒーローショーを実施した。また、イベント開催前2回にわたり、団体交流会を実施した。そこでは、市民団体間の連携を高めるための意見交換や日頃の活動内容の紹介などを行った。
事業名	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしのを推進する会展示、野菜販売などを実施した。
事業名	高齢者食事学事業
目的	任意団体等が高齢者の通いの場を設定することで、高齢者の社会的孤立感の解消、介護予防、認知症予防及び健康寿命の延伸を図り、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるようにする。
事業内容等	概ね65歳以上の高齢者を対象に、週1回以上・2時間程度の介護予防のための健康体操等を含むプログラムを行う。団地集会室や個人宅等で活動し、無断欠席の場合は安否確認を行う。基本プログラム以外に、子どもや若者・障害者との交流を図るサロンもある。
事業名	子育てひろばボランティア養成講座
目的	(1)武蔵野市主催の親子ひろば事業(コミセン親子ひろば、ふたご・みつごのつどい)等で活動するボランティアを養成する。 (2)現代の子育てを取り巻く状況を学び、地域における親子の多様な居場所(ひろば)の必要性を感じることで、受講者自身が新たな居場所やサークルを創出してみようとする気持ちを促す。
事業内容等	26年度より、担当課を子ども育成課(旧保育課)から子ども政策課に変更し、会場を3か所から1か所に集約するとともに、NPOや地域団体など様々な主体が参画し、子育て家庭とつながるきっかけをつくるイベントとして充実を図っている。
事業名	中高生リーダー講習会
目的	地域社会の指導者としての役割を担える人材を育成するため、市内在住・在学の中高生を対象に、養成講座を実施する。
事業内容等	中高生リーダーとしての心得、子どもとの接し方、ジャンボリーサプリーダーについての講義及びデイキャンプ講習、救急法講習を実施する。
事業名	【プレイス】市活人展
事業内容等	7名の市民活動をしている「人」に着目したパネル展示を行い、市民活動を行っている方を紹介し、市民活動への理解促進を図る。合わせて、プレイス市民活動支援機能の紹介パネルも展示。

事業名	【プレイス】講演会
事業内容等	市民活動への理解促進のための講演会等を実施。様々な活動を行っている人の人柄や活動に対する思いを知り、市民活動を身近に感じてもらう。平成29年度は、市民の手で仲間共に学校外の子どもの居場所、フリースクール「東京シュレ」を設立・運営している奥地圭子氏を講師に招き、「社会を変えたいと思ったとき、私はこう動いた。」と題してどのように問題に取り組み、活動を続けてきたのか、社会課題への踏み出し方や市民活動の広がりが方についてお話しいただいた。
事業名	【プレイス】ニューズレター発行
事業内容等	武蔵野プレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。毎月1000部発行。
事業名	【プレイス】市民活動情報コーナー
事業内容等	市民活動情報コーナーを設置し、市民活動に役立つ書籍、市民活動団体情報等を収集整理し、それらを閲覧に供す。市民活動団体ファイル、チラシ、助成金情報等、市民活動関連情報を置いている。
事業名	【プレイス】市民活動の森
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。
事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【市民社協】ボランティア育成事業
事業内容等	地域で活動する障がい者のためのボランティアを育成するとともに、障がいへの理解を促進する。 手話講習会(初・中・上級)6クラス各28回 受講者93名、(通訳養成)22回 受講者11名、点訳(入門)講習会 10回 受講者6名、(応用)講習会 10回 受講者6名、夏休み子ども手話教室 3回 受講者21名、失語症会話パートナー養成講座 受講生7名
事業名	【市民社協】心のバリアフリー啓発事業
事業内容等	障がい者支援の基礎知識を学ぶ出前講座を実施し、こころのバリアフリーを促進する。 (28年度実施対象者) 第五小学校(3～6年)、桜野小学校(3・4年)、都立武蔵高等学校(1年)、武蔵野生涯学習振興事業団、みずほ銀行
事業名	【市民社協】広報誌発行(ふれあい、VMC通信)
事業内容等	市民の方々に様々な地域福祉事業やボランティア活動に関する情報を提供する。 市民社協だより「ふれあい」:一般市民向け 毎月発行(50000部) VMC通信:VMC(ボランティアセンター武蔵野)に登録する個人及び団体向け 偶数月発行(2,600部)
事業名	【市民社協】お父さんお帰りなさいパーティー
事業内容等	定年前後のシニアを対象に、地域での活動のきっかけづくりを目的として開催している。 第18回お父さんお帰りなさいパーティー平成29年6月11日(日) 参加者:72名 内容:市内施設情報等のスライド上映、参加団体の活動を紹介する展示ブースの見学、団体紹介、音楽演奏、交流会ほか
事業名	【市民社協】お父さんお帰りなさいサロン
事業内容等	パーティー参加者のフォローアップ事業としてのおとぼサロンを毎月実施している。4/8(ぶらっと歩こう 16名)5/13(宗教の世界史 43名)7/8(落語は奥深く広い! 19名)9/9(絵を楽しむー見る・描くー 20名)10/14(武蔵野DEバードウォッチング 11名)11/11(ふるさと歴史館見学 2名)12/9(認知症はこわくない! ~私たちにもできる認知症予防 16名)1/13(新春書初め交流会 8名)2/10(役立つ!手話 8名)3/10(よくなる!あなたの腰痛 18名)
事業名	【市民社協】夏!体験ボランティア
事業内容等	市内在住・在学・在勤の方を対象として夏休み期間のボランティア体験の場を提供することを目的とし、市内の高齢者・障がい者・児童施設やボランティア団体に受け入れの協力をいただき実施している。 実施期間:7/17(月)～8/19(土) 参加者数:160名
事業名	【市民社協】入門講座
事業内容等	◆一からはじめるボランティアさんのためのオリエンテーション 日時:①4/22(土) 参加者:1名 ②4/25(火) 参加者:1名 ③9/13(水) 参加者:4名 ④9/16(土) 参加者:1名 ⑤12/13(水) 参加者:9名 ⑥12/21(木) 参加者:4名 ※⑤⑥は【市民活動はじめて月間】の事業として実施 ◆カメラボランティア講座(全3回と活動体験) 日時:①6/22(木) 参加者:11名 ②6/29(木) 参加者:11名 ③7/6(木) 参加者:11名 講師:hana氏 ◆話し方・聴き方講座～フォローアップ編～ 日時:①11/4(土)参加者:4名②11/9(木)参加者:3名 講師:碓氷美香氏
事業名	【市民社協】協働講座
事業内容等	ボランティア活動を始めるために必要な知識やスキルを学べる講座をボランティア団体と共同で実施する。 ◆音訳ボランティアを知ろう 日時:①5/11(木) 参加者:4名 ②5/20(土) 参加者:10名 講師:朗読奉仕の会むさしの

基本施策	1 市民活動の裾野の拡大
施策	2 多様な活動につながる情報の提供
施策の目標	市民や市民活動団体の活動の幅が広がり、多様な活動に展開につながる
計画後期の展開	① 市民活動団体の情報発信体制の拡充 ② ソーシャルメディアの有効活用 ③ 市民活動団体のPRに資するイベント等の企画・実施 ④ 活動につながる多様な情報の発信

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
男女平等推進センター企画運営委員会企画事業	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
ごみ減量協働事業	○	○	○	○
子育てフェスティバル	○	○	○	○
【プレイス】市活人展	○	○	○	○
【プレイス】講演会	○	○	○	○
【プレイス】ニュースレター発行	○	○	○	○
【プレイス】市民活動の森	—	○	○	○
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	○
【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
【市民社協】お父さんお帰りなさいパーティー	○	○	○	○
【市民社協】夏！体験ボランティア	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	173	203	238	134
男女平等推進センター事業来場者数(延べ)	342	257	284	406
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	319	396	460	473
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
ごみ減量協働事業相談業務相談件数	397	363	344	—
子育てフェスティバル来場者数	842	1,022	667	825
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4
【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	929	1,108	1,233	1,305
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	573	387	404	389
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	92	92	96	86

実施事業概要一覧（1-2）

事業名	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による講演などを行う。
事業名	男女平等推進センター企画運営委員会企画事業
目的	男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。
事業内容等	事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営、女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしのを推進する会展示、野菜販売などを実施した。
事業名	ごみ減量協働事業
目的	ごみ減量の主体として大きな役割を担う市民・市民団体自らが、イベントをとおしてのごみ分別指導、分別案内所の運営、ごみ減量情報紙等の配布、ごみ減量に関する講座、お茶碗のリユース事業を市の委託事業として行うことで、ごみ減量について市民の意識向上や主体的な取り組みの促進を図り、同時に組織の活性化が行われることを目的とする。
事業内容等	【①分別案内】環境市民団体が主体となって青空市・桜まつりのごみ分別指導を実施することで、市民から市民にごみ分別及び3R意識の徹底を図る。【②ごみ分別案内所】転出入の多い3月末に、主として転入届出を提出する市民を対象にごみの分別や出し方の案内、ごみ減量に関する啓発を実施する。【③ごみ減量情報紙配布委託】ごみ減量に関する情報紙の全戸配布を委託している。【④3R連続環境講座】生ごみからたい肥をつくり、それを使って野菜をつくることにより、ごみを減らすとともに、循環型社会の実現を目指した連続講座を実施。【⑤お茶碗リユース事業】コミュニティセンターや各種イベント等にてお茶碗等を回収し、使用したい方にお茶碗等を譲渡することでごみ減量を図る取組みを行っている。
事業名	子育てフェスティバル
目的	(1) 子育て家庭に対して、「親子であそぶ」ことを通じて、親子のリフレッシュを図り、子育ては楽しいものであると感じてもらうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。 (2) 子育て支援団体等が参加することにより、来場する子育て家庭が直接団体等の活動に接してもらい、つながってもらう。 (3) 子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにしてもらう。
事業内容等	26年度より、担当課を子ども育成課(旧保育課)から子ども政策課に変更し、会場を3か所から1か所に集約するとともに、NPOや地域団体など様々な主体が参画し、子育て家庭とつながるきっかけをつくるイベントとして充実を図っている。
事業名	【プレイス】市活人展
事業内容等	7名の市民活動をしている「人」に着目したパネル展示を行い、市民活動を行っている方を紹介し、市民活動への理解促進を図る。合わせて、プレイス市民活動支援機能の紹介パネルも展示。
事業名	【プレイス】講演会
事業内容等	市民活動への理解促進のための講演会等を実施。様々な活動を行っている人の人柄や活動に対する思いを知り、市民活動を身近に感じてもらう。平成29年度は、市民の手で仲間共に学校外の子どもの居場所、フリースクール「東京シューレ」を設立・運営している奥地圭子氏を講師に招き、「社会を変えたいと思ったとき、私はこう動いた。」と題してどのように問題に取り組み、活動を続けてきたのか、社会課題への踏み出し方や市民活動の広がりが方についてお話しいただいた。
事業名	【プレイス】ニュースレター発行
事業内容等	武蔵野プレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。毎号1000部発行。
事業名	【プレイス】市民活動の森
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。

事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【市民社協】広報誌発行(ふれあい、VMC通信)
事業内容等	市民の方々に様々な地域福祉事業やボランティア活動に関する情報を提供する。 市民社協だより「ふれあい」:一般市民向け 毎月発行(50000部) VMC通信:VMC(ボランティアセンター武蔵野に登録する個人及び団体向け) 偶数月発行(2,600部)
事業名	【市民社協】お父さんお帰りがなさいパーティ
事業内容等	定年前後のシニアを対象に、地域での活動のきっかけづくりを目的として開催している。 第18回お父さんお帰りがなさいパーティ平成29年6月11日(日) 参加者:72名 内容:市内施設情報等のスライド上映、参加団体の活動を紹介する展示ブースの見学、団体紹介、音楽演奏、交流会ほか
事業名	【市民社協】夏!体験ボランティア
事業内容等	市内在住・在学・在勤の方を対象として夏休み期間のボランティア体験の場を提供することを目的とし、市内の高齢者・障がい者・児童施設やボランティア団体に受け入れの協力をいただき実施している。 実施期間:7/17(月)~8/19(土) 参加者数:160名

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
------	--------------------------

施策	1 情報提供の充実
----	-----------

施策の目標	市民活動の多様性とステージに応じた情報提供を充実し、活動の活性化と団体の自律・自立を促す
-------	--

計画後期の展開	① 団体運営に必要な情報提供の充実 ② 民間の助成金や融資制度に関する情報提供の充実 ③ 市民活動団体の情報発信体制の拡充 ④ 利用可能施設の情報提供
---------	--

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
男女平等推進センター企画運営委員会企画事業	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
ごみ減量協働事業	○	○	○	○
子育てフェスティバル	○	○	○	○
【プレイス】ニュースレター発行	○	○	○	○
【プレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
【プレイス】市民活動の森	—	○	○	○
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	○
【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
男女平等推進センター事業来場者数(延べ)	342	257	284	406
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	319	396	460	473
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
ごみ減量協働事業相談業務相談件数	397	363	344	—
子育てフェスティバル来場者数	842	1,022	667	825
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4
【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	929	1,108	1,233	1,305
【プレイス】登録市民活動団体数	324	326	321	313
【プレイス】新規登録市民活動団体数	67	45	37	26

実施事業概要一覧（2-1）

事業名	男女平等推進センター企画運営委員会企画事業
目的	男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。
事業内容等	事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営、女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23～29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしのを推進する会展示、野菜販売などを実施した。
事業名	ごみ減量協働事業
目的	ごみ減量の主体として大きな役割を担う市民・市民団体自らが、イベントをとおしてのごみ分別指導、分別案内所の運営、ごみ減量情報紙等の配布、ごみ減量に関する講座、お茶碗のリユース事業を市の委託事業として行うことで、ごみ減量について市民の意識向上や主体的な取り組みの促進を図り、同時に組織の活性化が行われることを目的とする。
事業内容等	【①分別案内】環境市民団体が主体となって青空市・桜まつりのごみ分別指導を実施することで、市民から市民にごみ分別及び3R意識の徹底を図る。【②ごみ分別案内所】転出入の多い3月末に、主として転入届出を提出する市民を対象にごみの分別や出し方の案内、ごみ減量に関する啓発を実施する。【③ごみ減量情報紙配布委託】ごみ減量に関する情報紙の全戸配布を委託している。【④3R連続環境講座】生ごみからたい肥をつくり、それを使って野菜をつくることによって、ごみを減らすとともに、循環型社会の実現を目指した連続講座を実施。【⑤お茶碗リユース事業】コミュニティセンターや各種イベント等にてお茶碗等を回収し、使用したい方にお茶碗等を譲渡することでごみ減量を図る取組みを行っている。
事業名	子育てフェスティバル
目的	(1) 子育て家庭に対して、「親子であそぶ」ことを通じて、親子のリフレッシュを図り、子育ては楽しいものであると感じてもらうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。 (2) 子育て支援関係等が参加することにより、来場する子育て家庭が直接団体等の活動に接してもらい、つながってもらう。 (3) 子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにしてもらう。
事業内容等	26年度より、担当課を子ども育成課(旧保育課)から子ども政策課に変更し、会場を3か所から1か所に集約するとともに、NPOや地域団体など様々な主体が参画し、子育て家庭とつながるきっかけをつくるイベントとして充実を図っている。
事業名	【プレイス】ニューズレター発行
事業内容等	武蔵野プレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。毎号1000部発行。
事業名	【プレイス】市民活動情報コーナー
事業内容等	市民活動情報コーナーを設置し、市民活動に役立つ書籍、市民活動団体情報等を収集整理し、それらを閲覧に供す。市民活動団体ファイル、チラシ、助成金情報等、市民活動関連情報を置いている。
事業名	【プレイス】市民活動マネジメント講座
事業内容等	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。①会計税務②組織運営③広報④コミュニケーション技術⑤法人設立について実施。

事業名	【プレイス】市民活動の森
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。
事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【プレイス】情報ステーションの運営
事業内容等	情報ステーションに全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供する。武蔵野プレイスホームページ上のシステム。市民活動情報ステーションを活用してもらい、団体のイベント情報などを公開できる。
事業名	【市民社協】広報誌発行（ふれあい、VMC通信）
事業内容等	市民の方々に様々な地域福祉事業やボランティア活動に関する情報を提供する。 市民社協だより「ふれあい」：一般市民向け 毎月発行（50000部） VMC通信：VCM（ボランティアセンター武蔵野に登録する個人及び団体向け） 偶数月発行（2,600部）
事業名	【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業
事業内容等	高齢者の生活を地域で支える新しい共助の仕組みとして武蔵野市が設置する「テンミリオンハウス」の運営を担う市民団体やNPOの活動支援を行っている。定期的な運営状況の確認を行うと共に、各団体からの相談を受け、テンミリオンハウスの運営が安定して行えるよう支援を実施。

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	2 相談体制の拡充
施策の目標	団体運営や事業内容等に関する相談に対応する体制を整えることにより、市民活動を進める中で発生する様々な課題解決を支援する
計画後期の展開	① 法人設立相談体制の充実 ② 武蔵野プレイスを活用した市民活動の相談体制の充実

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
【プレイス】相談事業	○	○	○	○
【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	○	○	○	○
【市民社協】ボランティアコーディネート	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
【プレイス】相談受付件数	13	7	18	7
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	573	387	404	389
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	92	92	96	86
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野ボランティア依頼受付件数	186	216	207	195

実施事業概要一覧（２－２）

事業名	【プレイス】相談事業
事業内容等	常駐スタッフによる市民活動に関する相談、専門機関紹介、団体仲介等のコーディネート等を実施する。法人設立に関する相談や定款の書き方、団体紹介等について。
事業名	【プレイス】市民活動マネジメント講座
事業内容等	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。①会計税務②組織運営③広報④コミュニケーション技術⑤法人設立について実施。
事業名	【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業
事業内容等	高齢者の生活を地域で支える新しい共助の仕組みとして武蔵野市が設置する「テンミリオンハウス」の運営を担う市民団体やNPOの活動支援を行っている。定期的な運営状況の確認を行うと共に、各団体からの相談を受け、テンミリオンハウスの運営が安定して行えるよう支援を実施。
事業名	【市民社協】ボランティアコーディネート
事業内容等	ボランティア依頼に対し、登録されている活動会員（個人・団体）の中から条件に合う会員に活動依頼を行い、依頼者に紹介を行う。また、ボランティア希望者に対し、適切な活動先を紹介する。 依頼件数：207件（紹介128・調整中50・取り下げ18・調整つかず10・他機関紹介1） 交渉した個人数：377人、紹介人数：186人 交渉した団体数：73団体、紹介団体数：30団体

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	3 財政的な支援
施策の目標	補助金制度等により、団体の財政的な自律・自立を促す
計画後期の展開	① 補助金制度の見直しと改善 ② 民間の助成金や融資制度に関する情報提供の充実

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
男女平等推進団体活動補助事業	○	○	○	○
特定非営利活動法人補助金交付事業	○	○	○	○
武蔵野市緑ボランティア団体事業助成	○	○	○	○
まちぐるみ子育て応援事業	○	○	○	○
良質な住まいづくり活動助成事業	○	○	○	○
生涯学習事業事業費補助金	○	○	○	○
武蔵野市子ども文化・スポーツ団体支援事業費補助金事業	○	○	○	○
【市民社協】ボランティア・地域福祉活動助成	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
男女共同参画推進団体活動補助事業交付団体数	7	2	6	8
特定非営利活動法人補助金交付団体数	17	15	12	12
市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	319	396	460	473
武蔵野市緑ボランティア団体事業助成交付団体数	25	24	24	24
良質な住まいづくり活動助成事業交付団体数	3	4	1	2
生涯学習事業事業費補助金交付団体数	1	9	9	12
武蔵野市子ども文化・スポーツ活動団体支援補助金交付団体数	5	14	14	17
【市民社協】市民社協ボランティア・地域活動助成金交付事業数	33	32	30	30

実施事業概要一覧（2-3）

事業名	男女平等推進団体活動補助事業
目的	男女共同参画推進登録団体が行う男女共同参画社会の実現にむけた公開講演会などの活動に対して、その経費の一部を補助することで、団体の活性化及び施策の効果的な推進を図る
事業内容等	男女平等の推進をテーマとする研修会・講演会などで公開のもの、男女平等の推進をテーマとした研究及び調査、男女平等社会の実現にむけて、公共機関が実施する研修会、研究会等への参加等に対して、1団体1回5万円を限度に補助する。
事業名	特定非営利活動法人補助金交付事業
目的	団体の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与すること
事業内容等	主に、講演会・シンポジウム・講習会・研修等の開催に要する経費、調査に要する経費、その他市長が特に必要と認めた経費について、1団体1事業20万円を上限として補助する。交付団体及び交付額は、3名の外部委員による審査会により市長答申・決定する。交付決定団体には、12月に交流会、3月に実施事業の報告会を実施。
事業名	武蔵野市緑ボランティア団体事業助成
目的	市内における緑豊かな生活環境を確保すること
事業内容等	市と協定を結んだ、市立公園等を拠点として緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関するボランティア活動を行っている団体の活動の発展を促し、その緑ボランティアの団体事業経費の一部を助成する。1団体あたり上限を20万円を限度とする。
事業名	まちぐるみ子育て応援事業
目的	地域社会全体で子育て家庭を支えていく気運を醸成し、子育て家庭が心地よく過ごせるようにするとともに、商業の活性化を図り、「まちぐるみで子育て家庭を応援するまち武蔵野」を推進する。
事業内容等	「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し、実施する団体に補助金を交付する。平成28年度採択事業 知る・つながる「まちカフェ事業」
事業名	良質な住まいづくり活動助成事業
目的	団体の活動の健全な発展を促進し、良好な住宅及び住環境の形成を図ること
事業内容等	助成対象活動に要する費用のうち、講演会、講習会、相談会及び見学会の運営に要する経費(助成対象活動を行う団体の人件費及び事務所の維持管理に要する経費を除く)について、1団体につき年間10万円を限度とする。
事業名	生涯学習事業事業費補助金
目的	生涯学習活動団体が、団体構成員のための活動にとどまらず、広く市民に向けて武蔵野市らしさを活かした生涯学習の場を提供するため
事業内容等	「武蔵野市らしさを活かした生涯学習事業」を団体企画の生涯学習事業として募集・評価し、社会教育委員で審議・選定。事業開催のための費用負担や会場確保や広報など必要な支援を行う。1団体1事業50万円が上限。平成27年度までは生涯学習プロポーザル事業として実施。
事業名	武蔵野市子ども文化・スポーツ団体支援事業費補助金事業
目的	団体が日頃の活動では取り組むことが難しい事業の実現を図り、もって子どもの体験活動の活性化に寄与すること
事業内容等	公募型補助金事業。本市「子ども文化・スポーツ・活動体験基金」を原資とし、平成26、27年度は試行事業として実施。平成28年度本格実施予定。1団体1事業50万円上限。
事業名	【市民社協】ボランティア・地域福祉活動助成
事業内容等	「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」と「横河・100円募金の会」からの寄付を財源として、市内を拠点に活動するボランティア・市民活動団体の福祉活動を応援する助成制度。事業に対する単年度助成で、助成金の決定は「武蔵野地区配分推せん委員会」で審査を行う。

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	4 市民活動に関する学びの機会の提供【重点施策】
施策の目標	市民活動や地域課題に関する学びの機会を提供することにより、団体の活動意欲や実践力の向上、組織の安定化を目指す
計画後期の展開	① 組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供 ② 団体の活動ステージに合わせた学びの機会の提供 ③ 地域の課題を学ぶ機会の充実 ④ 市民活動に対する理解促進のための講座等の企画・実施 ⑤ 情報発信力強化に向けた支援

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
男女平等推進センター事業	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
子育てひろばボランティア養成講座	○	○	○	○
中高生リーダー講習会	○	○	○	○
文庫活動助成事業	○	○	○	○
【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
【プレイス】市民活動の森	-	○	○	-
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	-
【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
【市民社協】ボランティア育成事業	○	○	○	○
【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	○	○	○	○
【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	173	203	238	134
男女平等推進センター事業来場者数(延べ)	342	257	284	406
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
子育てひろばボランティア養成講座参加者数	54	62	54	49
中高生リーダー講習会登録者数	387	400	360	347
文庫活動助成事業講座・講演会参加者数(延べ)	80	73	92	62
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4

実施事業概要一覧（２－４）

事業名	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による講演などを行う。
事業名	むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業
目的	男女共同参画施策の推進を図る
事業内容等	母親講座、メディアリテラシー講座、市内大学でのデートDV出前講座等の企画・実施。男女共同参画推進団体相互の理解・連携を深める懇談会の実施。
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業
目的	「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。
事業内容等	各避難所運営組織が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員の派遣、事例の紹介、物品の提供・貸与、資料の作成などを実施。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	子育てひろばボランティア養成講座
目的	市主催の親子ひろば事業で活動するボランティアを養成する。現代の子育てを取り巻く状況を学び、地域における親子の多様な居場所(ひろば)の必要性を感じることで、受講者自身が新たな居場所やサークルを創出してみようとする気持ちを促す。
事業内容等	「子育てひろば」など子育て中の親子を支援する場で役に立つ基礎知識を習得するための講座を実施。受講者は市主催の「子育てひろば」にボランティアスタッフとして参加できる。
事業名	中高生リーダー講習会
目的	地域社会の指導者としての役割を担える人材を育成するため、市内在住・在学の中高生を対象に、養成講座を実施する。
事業内容等	中高生リーダーとしての心得、子どもとの接し方、ジャンボリーサプリーダーについての講義及びデイキャンプ講習、救急法講習を実施する。
事業名	文庫活動助成事業
目的	一般市民に図書館資料の魅力を紹介すると同時に、文庫活動をPRし、文庫会員相互の交流・研修の場とする。
事業内容等	文庫連絡会に参加している団体に、児童サービス事業の一端を担ってもらうため、文庫連絡会全体の事業として、文庫会員向け講座や講演会を図書館と共同で開催している。
事業名	【プレイス】市民活動マネジメント講座
事業内容等	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。①会計税務②組織運営③広報④コミュニケーション技術⑤法人設立について実施。
事業名	【プレイス】市民活動団体企画講座
事業内容等	環境、教育、福祉、災害、まちづくりなど、社会や地域の課題に取り組んでいる登録市民活動団体から、市民への気づきを促し、課題解決の実践につながる事業のアイデアを募集し、市民活動団体企画講座として実施する。企画については選考のうえ決定。1団体上限5万円で3団体まで。
事業名	【プレイス】市民活動の森
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。

事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【プレイス】情報ステーションの運営
事業内容等	情報ステーションに全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供する。武蔵野プレイスホームページ上のシステム。市民活動情報ステーションを活用してもらい、団体のイベント情報などを公開できる。
事業名	【市民社協】ボランティア育成事業
事業内容等	地域で活動する障がい者のためのボランティアを育成するとともに、障がいへの理解を促進する。 手話講習会(初・中・上級)6クラス各28回 受講者93名、(通訳養成)22回 受講者11名、点訳(入門)講習会 10回 受講者6名、(応用)講習会 10回 受講者6名、夏休み子ども手話教室 3回 受講者21名、失語症会話パートナー養成講座 受講生7名
事業名	【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業
事業内容等	高齢者の生活を地域で支える新しい共助の仕組みとして武蔵野市が設置する「テンミリオンハウス」の運営を担う市民団体やNPOの活動支援を行っている。定期的な運営状況の確認を行うと共に、各団体からの相談を受け、テンミリオンハウスの運営が安定して行えるよう支援を実施。
事業名	【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修
事業内容等	市内及び近隣の施設ボランティアコーディネーターを対象にボランティアの受け入れに関する様々な研修やコーディネーター同士の情報交換の場として実施 ◆「ボランティアから愛される施設になるために」講師:野崎 勝也氏(東京ボランティア・市民活動センター) 参加者数:12名
事業名	【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座
事業内容等	地域のさまざまな福祉課題を自ら発信するとともに、その解決に向けた活動を企画し、住民を巻き込みながら実践する「地域福祉ファシリテーター」の養成を行っている。本講座は3市(武蔵野・三鷹・小金井)と各市の社協、ルーテル学院大学の共催により実施しており、ルーテル学院大学の講師が受講生の指導を担当している。

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	5 団体交流の促進
施策の目標	団体の相互交流による活動の活性化を促す
計画後期の展開	① 市民活動団体同士の交流の機会の提供 ② 異なるセクターとの交流の推進

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
男女平等推進センター事業	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
特定非営利活動法人補助金交付事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
子育てフェスティバル	○	○	○	○
子育てひろばネットワーク会議	○	○	○	○
むさしのサイエンスフェスタ	○	○	○	○
【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	○
【市民社協】お父さんお帰りなさいパーティ	○	○	○	○
【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	173	203	238	134
男女平等推進センター事業来場者数(延べ)	342	257	284	406
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
特定非営利活動法人補助金交付団体数	17	15	12	12
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	350	684	5,542	-
子育てフェスティバル来場者数	842	1,022	667	825
サイエンスフェスタ来場者数	1,600	1,700	2,000	1,378
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4

実施事業概要一覧（2-5）

事業名	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による講演などを行う。
事業名	男女平等推進センター企画運営委員会企画事業
目的	男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。
事業内容等	事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営、女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	特定非営利活動法人補助金交付事業
目的	団体の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与すること
事業内容等	主に、講演会・シンポジウム・講習会・研修等の開催に要する経費、調査に要する経費、その他市長が特に必要と認めた経費について、1団体1事業20万円を上限として補助する。交付団体及び交付額は、3名の外部委員による審査会により市長答申・決定する。交付決定団体には、12月に交流会、3月に実施事業の報告会を実施。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者等に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしのを推進する会展示、野菜販売などを実施した。
事業名	子育てフェスティバル
目的	(1) 子育て家庭に対して、「親子であそぶ」ことを通じて、親子のリフレッシュを図り、子育ては楽しいものであると感じてもらうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。 (2) 子育て支援団体等が参加することにより、来場する子育て家庭が直接団体等の活動に接してもらい、つながってもらう。 (3) 子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにしてもらう。
事業内容等	26年度より、担当課を子ども育成課(旧保育課)から子ども政策課に変更し、会場を3か所から1か所に集約するとともに、NPOや地域団体など様々な主体が参画し、子育て家庭とつながるきっかけをつくるイベントとして充実を図っている。
事業名	子育てひろばネットワーク会議
目的	子育てひろばの運営主体同士で、「①情報交換を図る」ことで、「②地域の課題と情報を共有」し、適切な支援につないでいく。また各ひろばでは、「③専門機関へつなぐ」ことも求められることから、子育てひろばと専門機関との連携体制を強化する。
事業内容等	子育てひろばを運営・実施している施設や機関、団体関係者でネットワークを構築し、情報交換や先進事例の報告、スキル向上のための研修会等を実施する。
事業名	むさしのサイエンスフェスタ
目的	身近な科学実験を体験することで、子どもたちに科学の不思議と面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させる。
事業内容等	市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを展示する各ブース出展者で構成する実行委員会を組織し、市教育委員会と共催。実行委員会は出展内容を決定し、市は経済的に支援し、実行委員会の運営を補助する。
事業名	【プレイス】団体交流事業
事業内容等	市民活動団体相互の交流を促進することを目的として、市民活動団体相互の交流(団体紹介や課題の共有交換等)により活動のひろがりのきっかけを作る。登録市民活動団体を対象に、団体ミニ交流会(展示ブースを使って団体紹介)等を行う。
事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【市民社協】お父さんお帰りなさいパーティ

事業内容等	定年前後のシニアを対象に、地域での活動のきっかけづくりを目的として開催している。 第18回お父さんお帰りなさいパーティ平成29年6月11日(日) 参加者:72名 内容:市内施設情報等のスライド上映、参加団体の活動を紹介する展示ブースの見学、団体紹介、音楽演奏、交流会ほか
事業名	【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修
事業内容等	市内及び近隣の施設ボランティアコーディネーターを対象にボランティアの受け入れに関する様々な研修やコーディネーター同士の情報交換の場として実施 ◆「ボランティアから愛される施設になるために」講師:野崎 勝也氏(東京ボランティア・市民活動センター) 参加者数:12名
事業名	【市民社協】大学間ネットワーク事業
事業内容等	武蔵野市内及び近隣の大学ボランティアサークルのネットワークづくりを目的として開催している。 ◆ひろげよう!ボラ友の輪 6/11(日) 参加者:37名 ◆大学間ボラ~集まれっ!現代っ子~ 10/1(日) 参加者:38名 ◆ボラスマス 12/17(日) 参加者:61名

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	6 コーディネート機能の強化【重点施策】
施策の目標	地域としてコーディネートしていく体制作り
計画後期の展開	① コミュニティセンターのコーディネートの場としての機能の強化 ② 市や武蔵野プレイス、市民社協の連携によるコーディネート機能の強化 ③ コーディネート機能を担う人材の発掘・育成

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)	—	○	○	○
【プレイス】相談事業	○	○	○	○
【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)参加者数 平均	—	31	21	14
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4
【プレイス】相談受付件数	13	7	18	7
【市民社協】ボランティアセンター武蔵野ボランティア依頼受付件数	186	216	207	195

実施事業概要一覧

事業名	コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)
目的	対話やコミュニケーションをとりながら、コーディネーションやファシリテーションについて学ぶ。
事業内容等	さまざまな団体が連携してコミュニティづくりを進めるため、コミュニケーションを円滑に進める能力やコーディネーション・ファシリテーションについて学ぶ場として、市と武蔵野市コミュニティ研究連絡会の共催で「地域をつなぐコーディネーター養成講座」を開催。コミュニティ協議会、地域の団体・個人、市職員が参加して実施。
事業名	【プレイス】相談事業
事業内容等	常駐スタッフによる市民活動に関する相談、専門機関紹介、団体仲介等のコーディネート等を実施する。法人設立に関する相談や定款の書き方、団体紹介等について。
事業名	【プレイス】団体交流事業
事業内容等	市民活動団体相互の交流を促進することを目的として、市民活動団体相互の交流(団体紹介や課題の共有交換等)により活動のひろがりのきっかけを作る。登録市民活動団体を対象に、団体ミニ交流会(展示ブースを使って団体紹介)等を行う。
事業名	【プレイス】情報ステーションの運営
事業内容等	情報ステーションに全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供する。武蔵野プレイスホームページ上のシステム。市民活動情報ステーションを活用してもらい、団体のイベント情報などを公開できる。
事業名	【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修
事業内容等	市内及び近隣の施設ボランティアコーディネーターを対象にボランティアの受け入れに関する様々な研修やコーディネーター同士の情報交換の場として実施 ◆「ボランティアから愛される施設になるために」講師:野崎 勝也氏(東京ボランティア・市民活動センター) 参加者数:12名
事業名	【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座
事業内容等	地域のさまざまな福祉課題を自ら発信するとともに、その解決に向けた活動を企画し、住民を巻き込みながら実践する「地域福祉ファシリテーター」の養成を行っている。本講座は3市(武蔵野・三鷹・小金井)と各市の社協、ルーテル学院大学の共催により実施しており、ルーテル学院大学の講師が受講生の指導を担当している。

基本施策	3 市民活動の場の活用促進
------	---------------

施策	1 武蔵野プレイスの有効活用
----	----------------

施策の目標	「武蔵野プレイス」という活動の場を確保し、多様で自由な市民活動をサポートする
-------	--

計画後期の展開	① 武蔵野プレイスにおけるコーディネート機能の強化 ② 武蔵野プレイスを活用した市民活動の相談体制の充実 ③ 多様な市民活動にアクセス可能な情報収集・発信 ④ 市民活動に対する理解促進のための講座等の企画・実施 ⑤ 市民活動団体同士の交流の機会の提供
---------	---

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
【プレイス】市活人展	○	○	○	○
【プレイス】講演会	○	○	○	○
【プレイス】ニューズレター発行	○	○	○	○
【プレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
【プレイス】相談事業	○	○	○	○
【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
【プレイス】市民活動の森	○	○	○	-
【プレイス】市民活動学校	○	○	○	-
【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
【プレイス】市民活動フロア運営	○	○	○	○
【プレイス】市民活動フロア懇談会	○	○	○	○
【プレイス】市民活動フロア運営協議会	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	469	355	370	827
【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	73.2	78	57.8	65.6
【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	88.1	90.4	85.6	93.4
【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	929	1,108	1,233	1,305
【プレイス】ワークラウンジポスター掲示件数	342	376	343	353
【プレイス】相談受付件数	13	7	18	7
【プレイス】登録市民活動団体数	324	326	321	313
【プレイス】新規登録市民活動団体数	67	45	37	26
【プレイス】市民活動フロア利用者数	932	975	1,023	992
【プレイス】チラシ設置件数	428	502	507	440
【プレイス】貸出施設平均利用率	62.7	63.4	66.9	65.6

実施事業概要一覧（3-1）

事業名	【プレイス】市活人展
事業内容等	7名の市民活動をしている「人」に着目したパネル展示を行い、市民活動を行っている方を紹介し、市民活動への理解促進を図る。合わせて、プレイス市民活動支援機能の紹介パネルも展示。
事業名	【プレイス】講演会
事業内容等	市民活動への理解促進のための講演会等を実施。様々な活動を行っている人の人柄や活動に対する思いを知り、市民活動を身近に感じてもらう。平成29年度は、市民の手で仲間共に学校外の子どもの居場所、フリースクール「東京シューレ」を設立・運営している奥地圭子氏を講師に招き、「社会を変えたいと思ったとき、私はこう動いた。」と題してどのように問題に取り組み、活動を続けてきたのか、社会課題への踏み出し方や市民活動の広がりが方についてお話しいただいた。
事業名	【プレイス】ニューズレター発行
事業内容等	武蔵野プレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。毎号1000部発行。
事業名	【プレイス】市民活動情報コーナー
事業内容等	市民活動情報コーナーを設置し。市民活動に役立つ書籍、市民活動団体情報等を収集整理し、それらを閲覧に供す。市民活動団体ファイル、チラシ、助成金情報等、市民活動関連情報を置いている。
事業名	【プレイス】相談事業
事業内容等	常駐スタッフによる市民活動に関する相談、専門機関紹介、団体仲介等のコーディネート等を実施する。法人設立に関する相談や定款の書き方、団体紹介等について。
事業名	【プレイス】市民活動マネジメント講座
事業内容等	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。①会計税務②組織運営③広報④コミュニケーション技術⑤法人設立について実施。
事業名	【プレイス】団体交流事業
事業内容等	市民活動団体相互の交流を促進することを目的として、市民活動団体相互の交流(団体紹介や課題の共有交換等)により活動のひろがりのきっかけを作る。登録市民活動団体を対象に、団体ミニ交流会(展示ブースを使って団体紹介)等を行う。
事業名	【プレイス】市民活動団体企画講座
事業内容等	環境、教育、福祉、災害、まちづくりなど、社会や地域の課題に取り組んでいる登録市民活動団体から、市民への気づきを促し、課題解決の実践につながる事業のアイデアを募集し、市民活動団体企画講座として実施する。企画については選考のうえ決定。1団体上限5万円で3団体まで。
事業名	【プレイス】市民活動の森
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。
事業名	【プレイス】市民活動学校
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。
事業名	【プレイス】情報ステーションの運営
事業内容等	情報ステーションに全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供する。武蔵野プレイスホームページ上のシステム。市民活動情報ステーションを活用してもらい、団体のイベント情報などを公開できる。
事業名	【プレイス】市民活動フロア運営
事業内容等	市民活動団体登録事業、プリント工房貸出し、ロッカー、メールボックスの貸出し、ワークラウンジなどの対応を行う。市民活動団体登録手続きや市民活動フロア利用案内、プリント工房利用案内、ロッカー・メールボックスの抽選申込、使用料収納、ワークラウンジ開放受付、情報コーナーチラシ、ポスター掲示受付。
事業名	【プレイス】市民活動フロア懇談会
事業内容等	市民活動フロアに関して利用者の声を聞く場を設ける。どなたでも参加可能。市民活動フロアや市民活動支援機能に対するご意見等をお茶を飲みながら利用者から伺う。
事業名	【プレイス】市民活動フロア運営協議会
事業内容等	市民活動フロアの運営に関して、利用者参画を実現し、利用者ニーズを反映させるための協議会を運営する。市内で活動する市民活動団体の関係者定数10名(29年度は7名)によって構成され、市民活動フロアの事業の企画・実施・評価、設備・その他市民活動の運営上必要な事項に関することについて協議し、武蔵野プレイス事業部長に提言する。

基本施策	3 市民活動の場の活用促進
施策	2 多様な活動の場の情報提供
施策の目標	活動の場とその関連情報等を提供し、多様で自由な市民活動をサポートする
計画後期の展開	① 市民活動団体が利用可能な公共施設等についての情報発信 ② 多様な施設等の有効活用のための情報提供

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
コミュニティ協議会活動補助事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
16コミセン月間平均利用者数	4,548	4,579	4,469	4,370
市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	319	396	460	473

実施事業概要一覧（3-2）

事業名	コミュニティ協議会活動補助事業
目的	コミュニティづくりを行うコミュニティ協議会の活動に要する経費を補助し、市民による自主的なコミュニティづくりを支援する。
事業内容等	管理運営は、市民によって組織されている各地域のコミュニティ協議会が行っている。コミセンを拠点として、「自主参加」「自主企画」「自主運営」という「自主三原則」に基づき、コミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりのための様々な活動を行っている。コミュニティ協議会の活動を支援するため、補助金を交付している。

基本施策	4 課題解決のための「連携と協働」の推進
施策	1 連携と協働に向けたネットワークの構築
施策の目標	多様な取り組みの担い手による連携と協働を推進する
計画後期の展開	① 協働に関する情報提供の充実 ② 企業・大学等と市民活動団体との協働に関する相談・情報提供の実施 ③ 異なるセクターとの交流の推進

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
男女共同参画週間事業	○	○	○	○
避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
まちぐるみ子育て応援事業	○	○	○	○
子育てフェスティバル	○	○	○	○
武蔵境ピクニック	○	○	○	○
むさしのサイエンスフェスタ	○	○	○	○
成蹊大学・亜細亜大学との包括連携協定	○	○	○	○
【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	○	○	○	○
【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	173	203	238	134
男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	610	515	323	270
むさしの環境フェスタ来場者数(約)	4,000	4,500	3,000	3,000
子育てフェスティバル来場者数	842	1,022	667	825
武蔵境ピクニック来場者数	8,000	8,500	2,000	6,400
サイエンスフェスタ来場者数	1,600	1,700	2,000	1,378
外部団体と協働等により事業を実施した部署の数	26	25	27	25
外部団体と協働等により実施した事業の数	108	106	107	99

実施事業概要一覧（４－１）

事業名	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による講演などを行う。
事業名	男女共同参画週間事業
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり
事業内容等	関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。
事業名	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業
目的	「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。
事業内容等	各避難所運営組織が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員の出向、事例の紹介、物品の提供・貸与、資料の作成などを実施。
事業名	むさしの環境フェスタ
目的	幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者等に活動機会の場を提供すること。
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。
事業名	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしを推進する会展示、野菜販売などを実施した。
事業名	まちぐるみ子育て応援事業
目的	「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し実施する団体に補助金を交付することで、地域社会全体で子育て家庭を支えていく気運を醸成し、子育て家庭が心地よく過ごせるようにするとともに、商業の活性化を図り、「まちぐるみで子育て家庭を応援するまち武蔵野」を推進する。
事業内容等	「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し、実施する団体に補助金を交付する。
事業名	子育てフェスティバル
目的	子育ては楽しいものであると感じてもらおうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。来場する子育て家庭が直接子育て支援団体等の活動に接してもらい、つながってもらおう。子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにしよう。
事業内容等	子育ては楽しいものであるということを体感できるイベントとして、遊び場の提供、保健相談、救急法講習、栄養相談、地域の子育て支援事業の紹介(パネル展示、リーフレット配置)などを実施。
事業名	武蔵境ピクニック
目的	武蔵境地域の南北の市民交流と地域の活性化を図ることにより、住みよいまちづくりに寄与するため。
事業内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタンプラリーショッピング 参加費 500円 ・ 参加者 700名(小学生以上) 9商店会、2大学、2コミセン、JR武蔵境駅の14箇所のチェックポイントを徒歩で回り、スタンプを集める。スタンプ数によりイベント通貨が貰える。 2. メイン会場 (境南ふれあい広場公園) ◆催し物 (仮設ステージ) 地域の小学校、大学、市民団体等による、合唱・吹奏楽等 ◆模擬店 (テント) 各国料理、地元商店、市民団体等による料理の販売、各種
事業名	むさしのサイエンスフェスタ
目的	身近な科学実験を体験することで、子どもたちに科学の不思議と面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させる。
事業内容等	市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを展示する。各ブース出展者で構成する実行委員会を組織し、市教育委員会と共催。実行委員会は出展内容を決定し、市は経済的に支援し、実行委員会の運営を補助する。
事業名	成蹊大学・亜細亜大学との包括連携協定
目的	人的交流、情報共有および物的活用を図り、相互に協力して人材育成と地域社会発展に寄与すること
事業内容等	これまで市と両大学とは、武蔵野地域自由大学事業、武蔵野地域五大学共同事業、各種委員会への委員就任、市のイベントへのボランティア協力、小・中学校教育、スポーツ活動の支援などで相互に協力してきた。協定によりこれまでの協力関係をより一層深め、地域課題の解決を通じて新たな人材育成と豊かな地域創造を推進していく。

事業名	【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座
事業内容等	地域のさまざまな福祉課題を自ら発信するとともに、その解決に向けた活動を企画し、住民を巻き込みながら実践する「地域福祉ファシリテーター」の養成を行っている。本講座は3市（武蔵野・三鷹・小金井）と各市の社協、ルーテル学院大学の共催により実施しており、ルーテル学院大学の講師が受講生の指導を担当している。
事業名	【市民社協】大学間ネットワーク事業
事業内容等	武蔵野市内及び近隣の大学ボランティアサークルのネットワークづくりを目的として開催している。 ◆ひろげよう！ボラ友の輪 6/11(日) 参加者:37名 ◆大学間ボラ～集まれっ！現代っ子～ 10/1(日) 参加者:38名 ◆ボラスマス 12/17(日) 参加者:61名

基本施策	4 課題解決のための「連携と協働」の推進
施策	2 連携と協働に向けた体制の構築
施策の目標	市の協働推進の体制を整備し、ルールの明確化と職員の理解促進を目指す
計画後期の展開	① 「連携・協働」の意識の共有 ② 協働の意識と手法の定着に向けた職員研修の検討・実施 ③ 地域の課題を学ぶ機会の充実 ④ 市民活動団体とのコミュニケーション充実

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	27	28	29	30
コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)	—	○	○	○
職員向けコーディネータ力向上研修	○	—	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	27	28	29	30
コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)参加者数(平均)	—	31	21	14

実施事業概要一覧（４－２）

事業名	コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)
目的	対話やコミュニケーションをとりながら、コーディネーションやファシリテーションについて学ぶ。
事業内容等	さまざまな団体が連携してコミュニティづくりを進めるため、コミュニケーションを円滑に進める能力やコーディネーション・ファシリテーションについて学ぶ場として、市と武蔵野市コミュニティ研究連絡会の共催で「地域をつなぐコーディネーター養成講座」を開催。コミュニティ協議会、地域の団体・個人、市職員、武蔵野プレイス職員が参加して実施。